

# 10月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		14,289	98	13,468	72	125	91	42	0.3	北海道、青森、千葉産中心の入荷となる。北海道産は降雨と冷え込みで生育がやや遅れているが、10月中旬にはまとまった量が出る。青森産は終盤にはいりだらだらとした出荷になるが量的には横ばい。10月には千葉産が始まるが、一部地域は夏場の高温による初期生育不良のため、入荷は前年を下回る見込み。総入荷量は前年をやや下回り、価格は前年より高いが、平年並みの見込み。
はくさい		14,875	95	14,199	54	130	71	7	0.0	長野、茨城産中心。長野産は降雨と気温低下で出荷量伸び悩んでいるが、天候次第では10月中旬には数量上向き、前年並みを見込む。茨城産は一部台風などの被害で増量ペースが鈍く、前年よりも入荷量少ない見込み。総入荷量は前年を下回り、価格は基調安の前年を上回るがほぼ平年並み。
ねぎ		5,872	98	5,762	210	129	261	595	10.1	青森、北海道、秋田、山形産中心の入荷。北海道は平年並みの作柄であるが、東北産は産地によっては高温干ばつの影響で太物の発生少なく、全体の入荷量はやや前年を下回る見込み。現状稲作収穫で出荷ペースが鈍く、価格は高水準で推移しているが、10月中旬には数量回復に伴い下げの展開が予想される。価格は基調安の前年より高買、平年より高いが、売り場が確保されているので、店頭での荷動きは悪くない見込み。
きゅうり		5,956	103	5,935	272	103	297	97	1.6	埼玉、群馬、福島、茨城産が中心。福島産は抑制タイプ中心の出荷。10月は関東産抑制が主力となる。群馬、埼玉産は雪害のハウスが復旧もあり、集荷量は前年を上回る見込みだが、初期生育の不良から下旬には出荷減少が懸念される。茨城産は一部ほ場の冠水、日照不足で生育量が減少する見通し。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回るも平年より安い。10月下旬は品薄感強まり、上げ気配強まる見込み。
トマト		7,108	85	6,181	338	133	447	60	0.8	千葉、愛知、茨城、福島、青森、熊本等の入荷となる。東北産の残量は天候次第だが、変動激しいので切りあがり及早まる見込み。関東産抑制物は作柄安定せず南西暖地は着果量に不足はないが、初期生育は芳しくなく、軟弱徒長気味。全体の入荷量は潤沢入荷した前年を大幅に下回り、平年レベルからもやや下回る。価格は低迷した前年を上回るも、平年より若干高い程度。